

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

344号

2019年10月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

第3回朝米首脳会談に向けた朝米実務協議を展望する

今年2月28日、ハノイで開催された第2回朝米首脳会談は、当初期待された一部制裁解除などの融和ムードとは一転して、合意文書の署名式も取りやめになるなど、何らの成果も作り出せずに終わりました。

その後、4月11日に開催された朝鮮最高人民会議第14期第1回会議で、金正恩國務委員長は施政演説を通じて米側に「我々と共有できる方法論を模索する条件のもと、第3回朝米首脳会談をしようとするならば、我々も応じる用意がある」とし、「年末まで忍耐をもってトランプ大統領の勇断を待つ」と提案しました。

さらにトランプ大統領は大阪でのG20に参加した後、韓国を訪問して文在寅大統領と

会談後、板門店を訪れ金正恩委員長と会い、板門店での朝米首脳会談が電撃的に実現しました。トランプ大統領は金委員長と共に北側領域に足を踏み入れ、世界がアッと驚くパフォーマンスを見せて見せました。報道では事実上の「終戦宣言」との評価がなされました。トランプ大統領は記者たちに「米国はポンペオ國務長官とビーガン対北特別代表を中心に、2～3週間以内に実務協議団を構成する」と語り、第3回朝米首脳会談への期待を抱かせました。

しかし、実務協議は未だ実現していません。朝鮮はその間、短距離ミサイルと放射砲などの発射実験を立て続けに行い、韓国と日本は強く反発しましたが、一人トランプ大統領だけは「国連決議

に違反していない」と語り、「金委員長と良い関係を保っている」と発言しています。

朝鮮の一連の実験でミサイルはマッハ6を超える速度で命中精度も高く、迎撃が極めて難しいことが報じられています。朝鮮は核搭載大陸間弾道弾の大気圏再突入の技術を獲得していることを証明し、韓国と日本にある米軍施設へのピンポイント攻撃が可能で、Xバンドレーダー、陸上イージスアショアなどに最小限の被害で壊滅しようとの戦略と評されています。

トランプ大統領は、強硬派のボルトン安保担当補佐官を電撃解任して、リビア方式を否定しました。また「新たな方案を準備している」とも語りましたが、これについて対米実務交渉の首席代表に任命された金明吉(キム・ミンギル)

前ハノイ大使は、リビア方式の不当性を指摘し「朝米関係改善の新しい方法について語った報道に興味深く読んだ」と肯定的な反応を示しました。さらに崔善姫(チェ・ソンヒ)外務第1次官は9月9日談話を発表し「私は米側が双方の利害関係に呼応し、我々が受け入れられる計算法に基づいた代案を持ってくると信じたい」と期待をにじませています。

大統領選挙を控えたトランプ大統領に新たな疑惑が浮かび上がっていますが、トランプ政権としては今回の朝米実務協議が第3回朝米首脳会談に向けた最後の機会になるだけに、朝米シンガポール共同声明の精神に沿った対応が求められます。

(鐵)



▲金正恩委員長

▲トランプ大統領

いにしへのウリナラが

2000年の時空を超えて蘇る！

韓統連生野支部シリーズ学習会が開幕

9月15日(日)、シリーズ学習会「ウリナラ2000年ロマン」の第1回目として、『東方に栄える朝のあざやかな国』と銘打った今回の学習会は、そのタイトル通り、ウリ民族による民族国家の草創期(古朝鮮)から高句麗滅亡に至るまでの歴史を振り返り、今日につながる歴史的教訓を引き出そうと設定された。



▲祖国の歴史について熱心に学ぶ参加者

講師の金昌範(キム・チャンボム)生野支部代表委員からは、連続ドラマ「朱蒙(チュモン)」の名場面や裴東湖(ペ・ドンホ)先生著「愛国論」などを引用しながら、主に①史書や史跡を根拠に、ウリナラが紀元前2000年以上前から、徐々に民族国家としての性格を形成してきた。②高句麗の失地回復の闘いを含め、ウリ民族への圧迫を繰り返してきた漢、隋、唐などに対する挙族的な抵抗と闘いがあった。③ウリナラの歴史について、日本の多くの文書は蔑視観に基づき歪曲して記している(「任那日本府」が代表的)が、実際には日本は当時の朝鮮半島諸地域に敬意を持ったうえで、数百年間の、そして多岐に亘る交流、渡来を通じ、ウリナラ独自のものを含めた多くの文化や技術を導入し、国家権力に至るまでの多大な影響を受けた。④新羅・唐連合による高句麗の滅亡という史実を通じて示された、民族の団結と自主権という教訓などについて述べられた。

1時間余りの時間に膨大な情報量を込めた講義だったが、講師が遣隋使を派遣した厩戸政権を『かわやど』と間違えて読むと「それ、『うまやど』ですよ」と指摘する、日本史に習熟した参加者もおれば、郭東儀(カク・トウイ)先生著「わが祖

国統一論(P97)」の要点を引用し、中国側からの史書を鵜呑みにした事大史観をあらためて戒める参加者もいるなど、普段から充実した学習ぶりの参加者たちが、今回の学習会の意義を一層鮮明にしてくれた。

安倍政権による朝鮮脅威論を打破し、

日朝国交正常化を実現しよう

日朝ピョンヤン宣言17周年大阪集会

「日朝ピョンヤン宣言」発表から17年を迎え、日朝市民連帯・大阪の主催で「ピョンヤン宣言から17年 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会」が9月20日(金)、エルおおさかで開かれた。



▲講演を行う廉文成准教授

集会では、日朝市民連帯・大阪共同代表の大野進さんが主催者挨拶を行った後、「第3回朝米首脳会談と南北・日朝関係」をテーマに、廉文成(リョム・ムンソン)朝鮮大学校外国語学部准教授が講演を行った。廉准教授は講演で、昨年の朝鮮半島情勢を振り返り「南北・朝米首脳会談の開催を通じて、朝鮮半島の分断を根底から規定する軍事的対決状況の解消に向けた前進が待ち取られた」と指摘した。

続いて「しかし、今年に入り朝米・南北関係が一進一退を繰り返している。その理由として、米国政府が韓国政府に“南北関係は、朝米関係より先に進んではならない”と言及し、速度調整を行っている」と述べるとともに、「朝鮮半島の停戦体制を維持しようとする勢力が、未だに存在している。朝鮮半島の統一を望む勢力と分断を望む勢力との闘いであり、日朝国交正常化の実現のためには、日本の良心勢力の力が重要」と訴えた。講演終了後は、安倍首相宛の要請文の採択が行われ、最後に日朝市民連帯・大阪共同代表の長崎由美子さんが閉会挨拶を行い、集会は終了した。

◆韓青西日本夏期講習会感想文◆

夏期講習会で体験したこと、学んだこと

韓青大阪本部 金和容(キム・ファヨン)

韓青西日本夏期講習会が9月7日～8日まで、奈良県高市郡で開かれました。
今回の夏期講習会に参加した韓青大阪本部の金和容さんに感想文を書いて頂きました。

私は今回初めて副班長を担いました。
班員たちと討論などをするので、そのための事前準備や班長との打ち合わせをしっかりとしてきました。

いざ、班別討論になると緊張してしまい、上手く話せなかったところもありました。しかし、班員の中に知識が豊富な人がいて、いろいろな話が聞けたので、大変よい勉強になりました。



▲夏期講習会での記念写真

また、班長の柳秀根(ユ・スゴン)君が討論の進行をしてくれて、班員の様子を見ながら、分かりやすく説明をしたので有意義な班別討論になったと思います。

一番驚いたのは、レクレーションの数の多さで、自己紹介リレー、フラフープなど1日に5回行うという企画でした。正直、最初はちゃんと進行できるかどうか不安でしたが、実際にやってみたら

面白かったです。警泥(鬼ごっこのようなもの)の時には、全力で逃げたり、肝試しでは、ホラーっぽい雰囲気味わえたりなど楽しめました。



▲みんなで楽しくバーベキュー

講演や班別討論を通じて、自分が在日としてこれからの生き方や、現在の情勢に対してどう向き合っていくかなどを考えさせられました。在日、帰化、祖国志向のどちらの生き方を選ぶかという話し合いもあり、様々な意見がありました。私は在日としてこれからも韓青活動を頑張っていきたいと思いました。

今回のキャンプで学んだことは、ただ知識を得るだけでなく、人に分かりやすく教えていかなければならないこと。一緒に活動している仲間たちの新たな一面が見られたこと。そして、大変な時でも皆で力を合わせて頑張っていくことです。

韓統連大阪本部講演会 今、韓日関係を考える

日時：12月1日(日)午後1時30分 受付/午後2時 開会

場所：国労会館(JR天満駅下車徒歩5分)

内容：講演「韓日関係の現状と課題(仮)」

講師：金昌五(キム・チャオ) 韓統連大阪本部副代表委員

質疑応答 他

参加費：大人800円・青年学生500円

主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377

※朝米関係の進展など情勢の変化によって、名称を変更する可能性があります。ご了承下さい。

GSOMIA破棄を東アジアの平和につなげよう！

安倍改憲NO！の闘いを

しないさせない戦争協力関西ネットワーク事務局長 星川洋史

9月11日、安倍改造内閣が発足し、その内容を見ると日本の右傾化・9条改憲・軍事大国化をより加速させる内閣になっています。今号では、韓統連大阪本部も加盟しています、しないさせない戦争協力関西ネットワーク（シーサーネット）事務局長の星川洋史さんに、上記の問題について書いて頂きました。

日本は、マスコミをあげてGSOMIA（日韓軍事情報保護協定）破棄を通告した韓国政府を非難し、日韓対立を煽っています。直接のことはじまりが、徴用工被害者裁判における韓国大法院の正当な判決に対して、安倍政権が報復として輸出手続き優遇対象（ホワイト国）から韓国を除外したことに對する韓国政府の対応でした。

日本政府内でも個人請求権は消滅していないというのがこれまでの理解でしたが、この間、急速に右傾化している安倍政権は意図的に誤った解釈に基づいて行動しています。

そもそもGSOMIAは「朝鮮の核武装化に対応」するとして、アメリカの強い働きかけのもと、日韓の軍事機密情報共有化のものでした。これは、この間、安倍政権が強引に推し進めてきた一連の戦争法

などと一体であり、戦争と軍隊を否定する日本の憲法に違反するものです。韓国では当然にも、植民地支配と戦争の過去を清算しないばかりでなく、正当化を強める日本政府との軍事協定に反対する世論がまきおこりました。韓国民衆のキャンドルデモを背景に生まれた文在寅政権がGSOMIAを破棄するのは正当なことであり、日本の平和運動の後押しにもなっています。

安倍は前の参議院選挙で、改憲に必要な3分の2議席を確保できなかったにもかかわらず、いやそれだからこそ「任期内の改憲」に血道を上げています。安倍改造内閣は、極右・日本会議をはじめ右派勢力と安倍に従うことでしか自らの位置をつくれない者たちが中枢勢力です。だからこそ民

意や憲法や議会を無視して「戦争する国」づくりに突き進む危険性に満ちています。

2015年の安保法制・戦争法の強行採決、「いずも」の空母化と自衛隊機と米軍機の共用、そして沖縄の民意と闘いを無視しての辺野古基地建設などが次々と強行されています。

南北、米朝首脳会談と米韓合同軍事演習の中止など東アジアで、朝鮮戦争の終戦と平和条約の締結などの動きが出てくる中でも、安倍政権はこれ

を無視し、抗い、緊張を高める政策を採り続けています。

しかし、こうした中、韓国の民衆運動は「NO! JAPAN」ではなく「NO! 安倍」のスローガンを掲げました。これは韓国民衆運動から日本の民衆運動への力強い連帯の表明です。

安倍政権による9条改憲を阻

止することが、東アジアの平和にとって極めて重要であることが韓国の運動から示されています。今、東アジアでは韓国のキャンドル革命、沖縄の辺野古基地建設反対の民衆的な闘いが高揚しています。

東アジアの軍事的緊張をかき立てる安倍政権による9条改憲と辺野古基地建設の強行などを阻止する闘いに取り組みましょう。10月20日には「とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和 関西のつどい」を11月3日には、おおさか総がかり行動の「輝け憲法！ともに生きる社会を！」の集会を開きます。韓国・沖縄・香港などの東アジアの民衆運動につながる新しい民衆運動に踏みだしましょう。



▲「安倍政治を許さない」と訴える韓国民衆

【コラム】 韓国の麺料理～カルグクス～ (1)

カルグクスは韓国の細切り麺料理だ。「カル」は切ることを意味し、「クッス」は麺料理の意となる。カル(刃物)というストレートな名称が好ましい。小麦をこねて薄く伸ばし細切りにしている。韓国の繁華街を歩けば時折専門店を見かける程度にはメジャーな庶民料理だ。

韓国の伝統料理のひとつであり、朝鮮王朝時代の料理書でもカルグクスは「切麺」「刀濟非」の名で登場している。もっとも朝鮮王朝時代は、小麦粉をつなぎにしたソバ粉の麺だったようだ。小麦粉だけで作られるようになったのは近代に入ってからのことらしい。

ちなみにクッスは麺の総称になる。ネンミョン(冷麺)もチャジャンミョン(炸醬麺)も皆クッスだ。韓国においてクッは汁物を指すので、中途半端に覚えていると混同しがちになる。麺はクッス、汁はクッ。

麺料理は古くからあったようで、12世紀前半の中国使節が記した『高麗図経』には「食味十餘品、而麪食爲先(料理は十餘種あり、麺料理を先とする)」とある。中国の使節団の船舶に高麗側から食料を供給されるにあたっての記録なので、麺料理が優先されたのか、麺料理が一番美味しいのか、どちらともとれる史料だ。いずれにせよ歓待すべき使節団に渡す食料である。それなりの品質のものだったと思われる。

しかし、『高麗図経』はまた「高麗国内には麦が少ない。すべて商人が京東道(中国の山東地域)を通じて輸入している。そのため麺の価格がとても高い。盛礼(婚礼)でもなければ用いられない」と述べている。高麗では麦が少ないため、中国から麦を輸入しており、麺は高級料理だったという話だ。

朝鮮半島は決して麦の生産に適していないわけ

ではない。ミル(小麦)は北部を中心に、ポリ(大麦)は南部を中心に古くから生産されてきた。しかし、ここで言う「麥」とは小麦のことだろう。高麗時代は北部の小麦が地産地消された結果、南部では小麦の流通量が乏しかった可能性がある。また大麦は主食であり、小麦よりも大麦の生産が優先されていたとも考えられる。

ともあれ高麗時代、小麦粉を使う麺料理は高級料理だったといえよう。また、婚礼の際に麺を食べるのは昔からのことだったのかと興味深い史料でもある。

さて、現在のカルグクスは煮込み麺である。戦



▲牛骨カルグクス

前の料理書では日本のうどんやソバのように麺を茹でてザルであげる方法が紹介されていたが、今のカルグクスはスープに麺を入れて煮込むのが一般的だ。煮込みうどんや鍋ラーメンに似ている。

カルグクスのスープは様々なものがあり、主要なものは慶尚道のミョルチ(カタクチイワシ)スープ、全羅道のア

サリを使った魚介スープや小豆スープ、京畿道の牛骨や鶏のスープ、江原道のテンジャン(味噌)スープがある。料理店で出される時はあっさりした味のものが出されるので、ソルロンタンのようにキムチや唐辛子、塩などで味を調節して食べる。煮込み麺なのでスープは少し白濁しており、とろみがあって美味しい。

韓国でカルグクス好きの有名人といえば、金泳三(キム・ヨンサム)元大統領が挙げられる。在任当時、青瓦台を訪れた来賓の全員にカルグクスを振る舞ったという都市伝説が残るほどだ。ただ、そのせいで97年の通貨危機の際、大学生中心に「カルグクスを食べれば食べるほど、金泳三のように頭が悪くなる」とカルグクスの評判が悪くなったという残念な話がある。(好)

◆◆書籍紹介◆◆

短編小説集 『こわい こわい』

著者：黄英治（ファン・ヨンチ）

三一書房 1800円

韓青中央本部委員長、韓統連中央本部宣伝局長を歴任し、2012年から作家活動に専念することになった黄英治氏の待望の新刊だ。

冒頭の作品は『墓守り』。早朝、父が突然倒れたことを知らせる一本の電話から物語は始まる。

病院に駆け付けた家族が見守る中で水島雅恒は静かに息を引き取り、息子駿一は親族に訃報を伝えながら葬儀の準備をする。そのわずか一日を描くことで、祖国の地を離れ異国日本で生き抜いてきた水島家一族の様々な人生が鮮やかに描かれていく。父の本名は韓基煥。その遺骨は、やがて「江華韓氏之墓」に埋葬されることになる。駿一は日本人女性との結婚を契機に日本国籍を取得しているが、生前の父との約束を思い出し父に語り掛ける。「墓はちゃんと守るよ」。

次のページに目をやると、2番目の作品のタイトルが目に飛び込んできて思わずドキリとする。『墓殺し』。水島雅恒の兄、雅康の息子雅喬の物語だ。駿一の従兄にあたる水島雅喬は地方自治体の議員を歴任したのち議長地位にまで登りつめ、今は市長選挙への出馬を考えている。出自を隠すことなしには目的を達成できないジレンマに身も

だえする姿が痛い。

著者自身があとがきで語っているが、本書に収められた作品のほとんどは在日朝鮮人の〈死〉をテーマにしている。在日朝鮮人の死には、植民地主義の歴史と現在が深く刻印されているからだ。

短編集の最後を飾るのは『フィウオナー希願よ！』だ。盧美和子はお腹に新しい生命を宿したことを知ったその日、地方都市の朝鮮学校が襲撃されたニュースを聞く。わが子を待ち受ける日本社会の将来に思わず戦慄が走る。物語は、生まれ抜き、生き抜くという、希な願いを込めて、希願（フィウオン）と名付けられた娘の誕生の場面で終わる。常勤を降りたとはいえ、著者は今も現役の統一運動家だ。暗澹たる日本社会の深部を描きながら、著者の目には遠くない将来必ず統一する祖国が見えている。そして統一祖国と日本が互いに心から尊重しあう希望に満ちた未来が見えている。多くの死に向き合った短編集は、統一時代を生きる新たな生命の誕生で結ばれる。

著者の豊かな才能を堪能させてくれる珠玉の作品群を是非とも読んでいただきたい。（金五）



◆◆行事案内◆◆

<p>韓統連生野支部シリーズ学習会第2回 ウリナラの地理、風土 秘められた可能性、不条理な境界線</p> <p>日時：10月13日（日）午前11時～ 場所：韓統連生野支部（生野区勝山南4-13） 講師：孫啓榮（ソン・ゲヨン）生野支部副代表委員 金正樹（キム・ジョンソク）生野支部組織次長 参加費：会員300円・一般500円 問合せ：090-4495-3863（金）</p>	<p>10・4宣言発表12周年記念 2019年秋季野遊会 日時：10月27日（日）午前11時～ 場所：淀川河川公園太子橋地区バーベキューエリア 会費：大人2000円・中・高校生1000円 小学生以下は無料</p> <p>※おにぎりなどは各自で持参ください。 ※雨天中止（中止の判断は前日判断します）。 主催：韓統連大阪本部 06-6711-6377</p>
--	--

編集後記

まだ韓国でカルグクスを食べたことがありません。今度行ったとき、必ず食べます。（ソン）